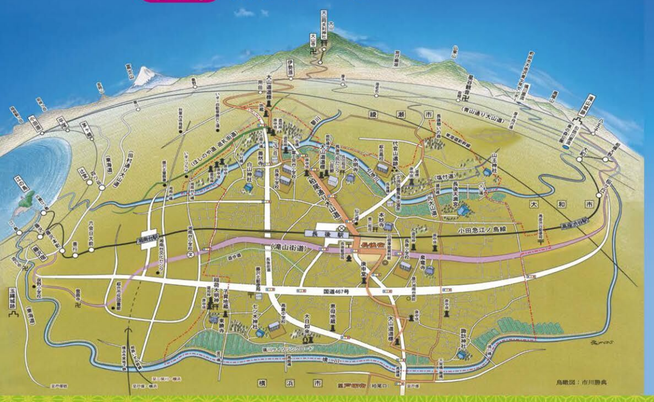
ふるさと観光マップ

長後めぐり

ゆったりのんびり散策しよう

その1 七ツ木神社・諏訪神社コース
その2 長後天満宮コース
その3 筆子塚コース



ようこそ歴史と自然のまち「長後」へ

私たちのまちは、昭和30年に高座郡渋谷町から「長後」と「高倉」が藤沢市に合併しその後、昭和46年に六会地区から「下土棚」が編入して、現在の長後地区となりました。

平安時代末期から鎌倉時代初期には渋谷庄司重国（秩父平氏）の本拠地であったと伝えられています。重国は相模国内の有数の実力者でした。

その後「長後宿（通称藪鼻）」と呼ばれた頃には、柏尾通り大山道と滝山街道が交差する交通の要衝として栄えてきました。

藤沢生まれのブドウの新品種「藤稔（ふじみのり）」は長後で開発されたものです

さらに、明治・大正以降、昭和の初期までは製糸産業の隆盛などによって発展し、長後の商店街は賑わいを続けました。

ここ長後地区は、富士山や大山をバックに豊かな自然と穏やかな風土に恵まれ、果物や野菜の直売所も点在しています。

ふるさと観光マップ「長後めぐり」を皆様にご利用いただき、歴史と自然のまちを楽しんでいただきたいと思います。

ふるさと観光マップ　長後めぐり

発行日：2012年　3月31日　第1刷発行
　　2025年12月 1 日　第3刷（改訂版）発行
発　行：長後地区郷土づくり推進会議
住　所：藤沢市長後513番地
電　話：0466（44）1622
編集制作協力：歴史散策の会
　　株式会社湘南よみうり新聞社

※この印刷物の内容を無断で転載することを禁じます。

＜参考文献＞
「長後誌史」　編集：長後誌編集委員会
「藤沢市文化財ハイキングコース」
　発行：藤沢市教育委員会
「キャーッ！ 大山街道!」
　著者：中平龍二郎＋編集部　発行：大森　誠
「直売所に行こう！」
　発行：藤沢市経済部農業水産課
　　JAさがみ藤沢市果樹部

長後地区郷土づくり推進会議HP▶

長後めぐり全体マップ

年表

旧石器時代(先土器時代)	相模野台地に人々が住み始める(代官山遺跡他)
縄文時代	草創期(一万二千年前～九千年前　代官山遺跡他)
弥生時代	後期(紀元後300年前後　下土棚諏訪ノ棚遺跡、夏刈東遺跡他)
古墳時代	円墳、横穴墓(代官山遺跡他)
天武天皇4年(675)	「日本書紀」に高座(タカクラ)郡が初見
文治5年(1189)	源頼朝が渋谷庄司重国の館(長後)に一泊
元弘3年(1333)	西光法師が下土棚夏刈に善然寺を創建する
永和年間(1375～79)	長福山長後永明寺が創建される
応永4年(1397)	長後泉龍寺に板碑造立
天文5年(1536)	下土棚白山神社創建
天正19年(1591)	七ツ木村、下土棚村、長後村の一部が旗本の知行地となる
宝永4年(1707)	富士山の噴火の降灰ある(後に長後仙元塚が作られる)
文化3年(1806)	下土棚夏刈に八臂青面金剛像庚申供養塔を設置
明治6年(1873)	永明寺本堂で長明学校開校される
明治24年(1891)	明治天皇の行幸、演習を天覧後に午餐をとり還御する
明治26年(1893)	長明小学校、福田小学校、上和田小学校の3校を合併して尋常渋谷南小学校、尋常渋谷北小学校を開校する
明治32年(1899)	長後に持田製糸第二工場が設立
大正12年(1923)	9月1日　関東大震災で長後地区の死者21名、負傷者10名
昭和4年(1929)	4月1日　小田急江ノ島線開通(駅名新長後)
昭和19年(1944)	10月3日　渋谷村が町制施行
昭和27年(1952)	高座郡渋谷町立南小学校開校(現長後小学校)
昭和29年(1954)	長後商工会の中心による七夕祭りが始まる
昭和30年(1955)	渋谷町長後高倉が、小出村遠藤、御所見村とともに藤沢市に合併、長後支所開設
昭和33年(1958)	4月1日　新長後駅を長後駅と改称
昭和35年(1960)	藤沢市大和市教育組合立渋谷中学校が藤沢市立長後中学校として開校
昭和42年(1967)	富士見台小学校開校
昭和46年(1971)	12月　下土棚が六会地区から長後地区に編入
昭和57年(1982)	高倉中学校開校
昭和58年(1983)	神奈川県立長後高等学校開校
昭和62年(1987)	高倉で、ぶどう「藤稔」の育種に成功
平成12年(2000)	4月　長後駅東口駅前広場、駅前通り線開通
平成16年(2004)	4月6日　神奈川県立長後高等学校と神奈川県立藤沢北高等学校が統合され湘南地区で初めての総合学科高校として神奈川県立藤沢総合高等学校が創立

長後めぐり その3

筆子塚コース

下土棚を中心としたコース。筆子塚や八臂青面金剛像庚申供養塔など市指定の文化財が数多く点在する地域。白山神社の樹齢300年の大銀杏も見応えがある。

スタート　長後駅（西口）
1 仙元塚
2 長田稲荷大明神
3 永明寺
4 双体道祖神
5 下土棚夏刈東遺跡
6 八臂青面金剛像庚申供養塔
7 白山神社
8 善然寺
9 筆子塚
10 長後市民センター石造物群
ゴール　長後駅（西口）

（距離：約5㎞）　モデルルート

長後めぐり 一口メモ

道標（どうひょう）

道しるべともいい、目的地までの方向を示すために路傍に設置された。江戸時代中期以降、庶民の参詣を兼ねた旅行が盛んになるにつれ増加した。四角形の石柱が多いが、庚申塔や道祖神などが道標の役割を兼ねる場合もある。

庚申塔（こうしんとう）

中国より伝来した道教に由来する庚申信仰の供養塔。60日毎に巡ってくる庚申（かのえさる）の夜に、人体にいる三尸（さんし）という虫が天昇し、その人の罪を帝釈天へ告げるとされるため、この虫を抜け出させないよう徹夜する。それが徹夜の集会となり「庚申講」と呼ばれた。これを3年間18回続けた記念に建立したのが「庚申塔」である。

仙元塚

この塚は宝永4年（1707）富士山噴火の時に田や畑に積もった火山灰を掃き集めて所々に小高く積んであったものを塚にした。

慶応2年（1866）に富士講の人々によって建設され、3丈（約9m）の高さがあったという。昭和39年（1964）に「仙元百年記念碑」が建てられた。

長後市民センター　石造物群

長後市民センターは、昭和31年（1956）に殖産学校を改造し長後支所としてスタートした。これを記念して植樹されたソメイヨシノは、樹高10m、幹周0.2mの古木に成長し、長後のシンボルとして地域の人々に親しまれている。また、同敷地内には、各所から集められた石造物が置かれており、その一基、一基から長後の人々の民俗信仰や生活を偲ぶことができる。

筆子塚

17世紀中頃から19世紀中頃まで善然寺の住職により寺子屋が開かれ、下土棚や上土棚の富農の子どもたちが通っていた。この子どもたちのことを筆子といい、成長した後、師匠の恩を偲んで建てた墓を筆子塚と呼んだ。ここでは、約120年の長い間、数代の住職が寺子屋を継続していたといい、全国的にも稀である。市の文化財指定史跡として保存されている。

善然寺

鎌倉時代、西光上人によって創建されたと伝えられている。何度か火災にあいたい寺宝は少ないが、本堂の聖観音菩薩坐像には胎内に聖観音の小像を収める珍しいもので、南北朝期の作。本尊の阿弥陀如来立像は寛永年間（1624～1643）に、下野の弘経寺より、住職の移住に伴い招来されたといわれる。寺域内には馬頭観音、南無阿弥陀仏の名号塔などがあり、墓域には寺子屋師匠の墓、筆子塚や地頭竹尾氏の墓地及びインドシャ難民の墓がある。

白山神社

室町時代中期に創建されたと伝えられ、祭神は、菊理媛尊、伊弉諾尊、素戔嗚尊を祀る。寛文4年（1664）広田主水らによって再建され、その後社殿が造営された。お祭りは9月18日に一番近い日曜日。神輿を担ぎ、獅子舞が町を回るのが最大の見せ場であり、下土棚祭ばやしは市指定の無形民俗文化財。また、境内の大銀杏は樹齢300年といわれ、再建当時の記念樹と考えられる。

永明寺

永和年間（1375～79）清渓通徹禅師の創建、鎌倉円覚寺派の寺にあたる。寛永7年（1630）旗本朝岡泰勝が再建し、享和3年（1803）には甲州竜野村円通寺の龍峰和尚が来山して堂宇の修復に尽くした。龍峰和尚は人望が厚く当山中興の祖といわれる。明治6年（1873）に長明学校がこの永明寺に開校された。

なお、開山の清渓禅師は中国へ留学し、帰朝後は北朝の光厳天皇の帝師となられた人で、その縁からこの寺の寺紋に菊花を許されたといわれる。また、境内墓地には領主朝岡氏の墓碑がある。

長田稲荷大明神

この稲荷社は天保7年（1836）に井上・安田両家が京都伏見稲荷大社から勧請し、長後の田の守護神として祀られた。明治29年（1896）からは稲荷講が組織され下長後村全体の守護神となった。境内には標示石や道祖神像、二十三夜塔、地神塔が残る。

双体道祖神

こぶし荘北側の畔には4基の石造物があり、両端の2基は道標か石仏とされる。中の2基は双体道祖神像で、西向きに設置。右像には「安政四年巳年造立」・「願主上氏子中」と刻まれ、江戸末期に白山神社の氏子中が建立したと推定される。

下土棚夏刈東遺跡

引地川右岸域に形成された河岸段丘上の縁辺部に位置し、北側には下土棚諏訪ノ棚遺跡が広がっている。発掘調査で確認された主な遺構は、弥生時代後期から古墳時代前期の集落跡と古墳時代後期と考えられる古墳2基。

八臂青面金剛像庚申供養塔（はっぴしょうめんこんごうぞうこうしんくようとう）

高さ1.2m、石造で笠塔婆型の庚申塔。この青面金剛像は三面八臂であることが一面六臂の他の庚申塔との相違点。主像は足下に邪鬼を踏まえて塔身全面いっぱいに彫られ基礎前面には三猿像が彫りこまれている。市指定の有形民俗文化財。

花

	氏名・園名	電話	販売品目
A	こすげふぁーむ	090(8101)7156	花壇苗全般、野菜苗 他

果樹・野菜直売所

	氏名・園名	電話	販売品目
B	さつた果樹園	(44)3829	梨、ぶどう

収穫期等は各園にお問い合わせ下さい
※販売品目は主なものです
※2025年4月1日現在